

# 「九条の会」愛知・大学人の会 Zoom 講演会 (無料)

講師・來田享子 (中京大学スポーツ科学部教授/日本スポーツとジェンダー学会  
会長/東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事)

## 「ジェンダー視点からオリンピックを問い直す」

スポーツには、健康に役立つ、誰もが仲良くなれる、自分が生きていることを実感できるなど、私たちが日常生活に希望を感じられるようにする役割があります。近年、その役割は拡大し、被災地や紛争地においてもスポーツの機能は活用され、SDGsの17の目標のいずれにも、何らかの形でスポーツは活用し得ると考えられています。

このようなスポーツに関する最近の考え方の中から、スポーツにおける差別や人権侵害をなくそうとする動きも高まっています。たとえば、世界中から様々な文化的・社会的な背景の人が集まり、巨額の資金が投じられる大会は、差別や不平等を可視化し、開催地の民主主義の状況や人権課題を浮き彫りにするという「社会を映す鏡」でもあります。この講演では、ジェンダーの視点を中心に、スポーツが映し出している社会の現在地点について考えます。

**日時：11月13日(土) 13時30分～16時**

【スケジュール】 講演 13:30～15:00 質疑討論 15:00～16:00

【申し込み先】 ([yhadachi@khe.biglobe.ne.jp](mailto:yhadachi@khe.biglobe.ne.jp)) TEL 052-411-2737 《11月12日17時まで》

主催：「九条の会」愛知・大学人の会

協賛団体：「安保法に反対する愛知学院大学教員有志の会」、「愛大九条の会」、「中京大学九条の会」  
「名大九条の会」